

実習の感想

今年2月10日から一カ月、下越病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。外来での診察や入院患者さんの担当だけでなく、検査課や内視鏡、リハビリなど幅広く実習をさせていただき、非常に充実した毎日を過ごすことができました。

内科外来では解剖学的な部位、症状の時間経過から鑑別疾患を考えるその思考過程と患者さんとの接し方を丁寧に指導頂きました。患者さんがなぜその日に受診をしようと思ったのか、何が一番不安なのかということを見問診から聞き出し、それを解消することの重要性を学びました。

また、入院患者さんを担当させて頂き、退院するためには現在何が問題でどのような介入をするかという考え方を学びました。診断から入院中の管理、退院に向けてのリハビリや調整、最後の看取りまですべてを見る姿勢はこれからの医療に必要な姿そのものだと感じました。

指導して下さいました先生方をはじめ、実習の計画や準備をして下さった事務の方々、優しくサポートして下さいました医療スタッフの皆様、実習に携わって下さった下越病院のすべての方の温かさに支えられた一カ月でした。心より感謝申し上げます。